

活動の概要

専門分野であるイノベーションマネジメントの知見を活かし、大きく 5 つの活動を行った。第 1 に、イノベーション創出に挑戦するための風土を岐阜県内に醸成することを目的にした取り組み「岐阜イノベーション工房」を本学の新規事業として立ち上げた。第 2 に、高校生を中心とする若者が未来のライフスタイルを作品として表現するワークショップ「IAMAS 先端 IT・IoT 利活用啓発事業 2018」を、同じく本学の新規事業として立ち上げた。第 3 に、2010 年より隔年で実施する DIY の祭典「Ogaki Mini Maker Faire 2018」で総合ディレクターを担当した。第 4 に、経済産業省によるスタートアップを支援するための拠点構築事業「Startup Factory 構築事業」の「ものづくりスタートアップのための契約ガイドライン&契約書フォーマット」に関する検討会に座長として参加した。第 5 に、一般財団法人たんぼの家が主宰した事業「知的財産活用に向けた人財育成のための学習プログラムの開発」の検討会、および「IoT と Fab と福祉」に参加した。

本学の事業

1 岐阜イノベーション工房

IAMAS で醸成された、多様な分野出身の人々が、専門分野を越境して異なる知見を結びつけ、表現することを通じて様々な課題に取り組む手法と文化に着目し、イノベーション創出に挑戦するための風土を岐阜県内に醸成することを目的に、新規事業創出に取り組もうとする人々に向けたカリキュラムとして実施した。まず、2018 年 6 月 1 日に開催したシンポジウム（参加者約 200 名）で参加を呼びかけ、定員の約 2 倍の応募の中から、7 社から 20 名を参加者として選出した。次に、2018 年 8 月下旬から 11 月上旬にかけ、各回 6 時間、合計 10 回からなる演習プログラムを開催し、参加者は IoT、機械学習、デジタル設計、デジタル製造といったテクノロジーの本質と、アイデア創出からそれをプロトタイプとして実現するまで一連のプロセスを学んだ。その上で、参加者は 2018 年 11 月中旬から 2019 年月末までの期間にそれぞれの企業における実際の課題に取り組み、そこでの成果や直面した課題について 2019 年 3 月 5 日の成果報告会で約 70 名の来場者と共有した。この事業においては構想から実施までを担当した。なお、この事業の詳細については『情報科学芸術大学院大学紀要 第 10 巻』の第二特集として紹介している。



岐阜イノベーション工房 2018 演習プログラムの様子

2 IAMAS 先端 IT・IoT 利活用啓発事業 2018

本学の研究教育活動の成果を活かし、高校生などの若い世代が「アーティスト」と共に未来のライフスタイルを作品として表現する取り組み。最先端の IT・IoT 分野で起業し、第一線で活躍する IAMAS 卒業生を講師に招き、ワークショップを通じて、近未来のライフスタイルを表現する作品を参加者が制作した。1 つ目のワークショップ「OTON GLASS」を学ぶ・作る・ハックする」はオトングラスの島影圭佑と浅野義弘らが講師をつとめ、文字を音声で読み上げるスマートグラス「OTON GLASS」を題材に、高校生・専門学校生 12 名が仕組みを学び、再現し、新たな用途に作り替える（＝ハックする）ことに挑戦した。2 つ目のワークショップ「つながるサウンド 木と電子回路と音のワークショップ」は MATHRAX の久世祥三と坂本茉莉子が講師をつとめ、高校生・専門学校生 13 名が、大垣市の特産品である枡や岐阜県産の木材、小型コンピューター「Raspberry Pi」や「micro:bit」などを活用し、ネットワークを使ったサウンド作品を制作した。最終成果は Ogaki Mini Maker Faire 2018 で関連企画として展示した。この事業においてはワークショップ講師の選出を含めた構想を担当した。



ワークショップの様子（「OTON GLASS」を学ぶ・作る・ハックする）



ワークショップの様子（つながるサウンド 木と電子回路と音のワークショップ）

3 Ogaki Mini Maker Faire 2018

Maker Faire は、電子工作やロボット、クラフト、ペーパークラフト、電子楽器、サイエンス工作、リサイクル／アップサイクルなど、様々な分野のつくり手「Maker」たちが全国から集まり、つくったものを見せ、語り、その楽しさを共有するイベントである。地方版である Mini Maker Faire の岐阜県大垣市における開催は今回で 5 回目となり、140 組以上の出展者と約 7,000 人の来場者が参加した。回を重ねたことで地方開催の Maker Faire としてすっかり定着し、全てを見て回れる適切な規模で運営できたこともあり、参加者、出展者共に高く評価された。また、IAMAS 先端 IT・IoT 利活用啓発事業 2018 の最終成果展示とトークイベントを関連イベントとして開催した。実行委員会形式で実施したこの事業においては総合ディレクターを担当した。なお、この事業の詳細については開催報告書『Ogaki Mini Maker Faire 2018』で報告している。

<https://www.iamas.ac.jp/iamasbooks/event/ogaki-mini-maker-faire-2018/>



Ogaki Mini Maker Faire 2018 メイン会場の様子

学外の事業

1 ものづくりスタートアップのための契約ガイドライン&契約書フォーマット

Startup Factory 構築事業とは、経済産業省が、ハードウェアをはじめとした独自のプロダクトの量産に挑むスタートアップを支援するための拠点構築を後押しする事業である。ものづくり系スタートアップがアイデアを実際のプロダクトにして市場へ投入していくためには、ものづくりを担う設計・製造業者等との協業が欠かせない。しかしながら、スタートアップと設計・製造業者等の間の取引においてお互いの認識のギャップ等が原因で少なからずトラブルが発生しており、そのすり合わせのプロセスである「契約」のノウハウ普及が不可欠となっている。このような背景から、スタートアップと設計・製造業者等との積極的な協業が促進されることを目指したガイドラインを作成することになり、ガイドライン策定のための検討会において座長を担当した。なお、この検討会の成果物である契約ガイドライン、契約書フォーマット、契約書フォーマット利用のポイントはStartup Factory 構築事業のウェブサイトで公開されている。

<https://startup-f.jp/guideline/>

2 知的財産活用に向けた人財育成のための学習プログラムの開発

アート活動を行う福祉施設において施設利用者の創作物などの知的財産を活用したビジネスが生まれていることや、デジタルファブリケーションの普及を背景に、知財に関するより柔軟な契約や処理が求められている。しかしながら、個人のクリエイターや福祉施設は知財やその権利に関する専門的な知識を持ち合わせていない場合が多く、契約に際してトラブルが生じることもある。こうした状況に対して、知財の非専門家であっても知財の運用や基礎知識について学ぶことができるボードゲームとハンドブックを制作したこの取り組みの検討会に構成員として参加し、有識者として知見を提供した。

3 IoT と Fab と福祉

一般財団法人たんぼの家が主宰し、2017 年から日本各地で進めている福祉×現代技術の実験的な取り組みで、技術の活用により、新たなしごと・はたらき方をつくること、心地よい暮らしの環境をつくることを目的に、これからの福祉と技術の関係づくりを進めている。この取り組みに岐阜県岐阜市の社会福祉法人いぶき福祉会と共に拠点の1つとして参加したほか、2018 年 11 月と 2019 年 3 月に開催さ

れたフォーラムにおいて IoT とファブに関する基調講演などを担当した。

4 ワークショップや講演など（抜粋）

4.1 ワークショップ

- Idea Sketching in Tokyo—IAMAS の著者 4 名×清水淳子氏によるワークショップ、2018 年 6 月 16 日、東京都渋谷区
- ケア×アートで新しい「遊び」をつくる、2018 年 11 月 18 日、医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック、岐阜県羽島郡
- アイデアスケッチワークショップ、宮城県産業技術総合センター、2019 年 3 月 27 日、宮城県仙台市

4.2 講演

- テクノロジーの“辺境”「枯れた技術の水平思考」をレンズとして、Maker Faire Tokyo 2018、2018 年 8 月 4 日、東京都江東区
- メイカーが地域と企業にもたらす未来（Maker Faire Kyoto 2019 に向けて）、京都スマートシティエキスポ 2018、2018 年 10 月 5 日、京都府相楽郡（オンライン登壇）
- AND softdevice #001:プロトタイピングのすがた@京都、2018 年 10 月 11 日、京都府京都市
- さよならメインストリーム～解なきダイバーシティ時代におけるデベロッパー中心で切り開くエコシステム～、明治大学、2019 年 3 月 8 日（セッション 4「ハードウェアとプラットフォーム」にパネリストとして登壇）
- フォーラム「IoT と Fab と福祉」基調講演、一般財団法人たんぼぼの家、2019 年 3 月 16 日、東京都文京区

4.3 その他

- ROHM OPEN HACK CHALLENGE 2018、審査員、ローム株式会社、2018 年 9 月
- 北九州デジタルクリエイターコンテスト 2019、審査員、北九州市、2019 年 2 月
- Web×IoT メイカーズチャレンジ in 東京、審査員、総務省・Web×IoT メイカーズチャレンジ実行委員会、2019 年 3 月